



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月1日

上場会社名 株式会社ミロク情報サービス 上場取引所 東  
コード番号 9928 URL http://www.mjs.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 滝本 訓夫 TEL 03 (5361) 6369  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,228	7.7	1,049	10.7	1,060	12.6	600	21.2
24年3月期第2四半期	9,497	3.3	947	115.3	941	114.8	495	118.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 598百万円 (26.2%) 24年3月期第2四半期 474百万円 (147.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	19.58	18.97
24年3月期第2四半期	16.17	15.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	15,360	8,855	57.5	288.05
24年3月期	15,431	8,615	55.8	280.54

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,834百万円 24年3月期 8,604百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,230	3.2	2,070	2.3	2,050	2.5	1,100	3.9	35.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	34,806,286株	24年3月期	34,806,286株
25年3月期2Q	4,135,435株	24年3月期	4,134,860株
25年3月期2Q	30,671,273株	24年3月期2Q	30,659,170株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に緩やかな回復傾向にありますが、長引く円高やデフレ経済、さらに欧州債務問題や新興国における景気減速の影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況で推移しております。

ソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましては、景気の先行き不透明感から、企業の本格的なIT投資意欲の回復には至らず、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは第2次中期経営計画（平成24年3月期～平成26年3月期）の2年目を迎え、経営ビジョンである「顧客基盤と安定収入の拡大に継続的に取り組むとともに、インターネット技術を利用した多様化するビジネスモデルをはじめ、さまざまな環境変化に柔軟に対応できる経営基盤の確立」の実現に向け、積極的な取り組みを行っております。

会計事務所向けには、顧問先企業のニーズの多様化・高度化など会計事務所の経営環境が大きく変化する中、“事務所経営の最適化”を実現する主力製品『ACELINK NX-Pro』の販売に引き続き注力しました。

中堅企業向けには、本年2月に発売したERPシステム『Galileopt NX-I』の拡販を推進しております。同製品は、内部統制の確立や経営情報の可視化を実現するとともに、高度な経営計画、経営分析、モニタリングを実現する“財務を核としたマネジメントシステム”です。これら主力製品に加えて、会計事務所や企業のリスクマネジメントを支援するセキュリティ関連商品やストレージ・サービスの販売にも積極的に取り組みました。

一方、顧客基盤の拡大に向け、多彩なセミナー・研修会をはじめとする販売促進や広告宣伝活動、また、お客様へのソリューション提案力を強化するための人材教育活動に努めております。さらに、インターネット技術を利用したクラウドサービスやマルチデバイス対応など、新たなサービスや製品開発を進めております。

お客様に対して最適な経営システム及び高品質なサービスを提供し、顧客基盤の維持・拡大を図ることにより、安定的な利益創出、企業価値向上に努めております。

このような事業活動により、当第2四半期連結累計期間における業績は増収増益となりました。売上高にしましては、102億28百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益10億49百万円（前年同期比10.7%増）、経常利益10億60百万円（前年同期比12.6%増）、四半期純利益6億円（前年同期比21.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の品目別の業績は以下の通りであります。

#### (システム導入契約売上高)

ハードウェア売上高は、セキュリティ機器等の販売が好調に推移し、前年同期比33.9%増の13億81百万円、ソフトウェア売上高は、前年同期比4.0%増の42億1百万円となりました。ユースウェア売上高は、前年同期比7.9%増の11億90百万円となりました。

この結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比9.7%増加し67億72百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等）の売上高から構成されております。

#### (サービス収入)

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリューサービス）収入は、前年同期比0.1%増の8億67百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格な会計ソフト使用料売上が伸張し、前年同期比28.3%増の3億7百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、契約企業数が増加したため、前年同期比1.9%増の13億37百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は前年同期比1.1%減の5億48百万円、サプライ・オフィス用品は前年同期比4.4%増の2億87百万円となりました。

この結果、サービス収入の合計は、前年同期比3.1%増加し33億49百万円となりました。

※「サービス収入」は、主に継続的な役務の対価となる安定的な収入として、ソフト保守やハード・ネットワーク保守、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少して153億60百万円となりました。

主な要因は、流動資産では、現金及び預金が4億87百万円減少、受取手形及び売掛金が90百万円増加、仕掛品が4億85百万円増加しており、固定資産では、有形固定資産が65百万円増加、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が2億43百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億11百万円減少して65億5百万円となりました。

主な要因は、社債が1億22百万円減少、借入金が1億36百万円減少、受注損失引当金が24百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加して88億55百万円となりました。また、自己資本比率は57.5%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末より5億87百万円減少し、32億76百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億54百万円の収入（前年同期は10億91百万円の収入）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益10億37百万円、減価償却費2億75百万円、仕入債務の増加1億53百万円がそれぞれキャッシュ・フローの収入となり、法人税等の支払額5億66百万円、たな卸資産の増加2億95百万円、賞与引当金の減少1億74百万円がそれぞれキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億80百万円の支出（前年同期は1億71百万円の支出）となりました。

これは主として、定期預金の預入により2億20百万円及び有形固定資産の取得のために1億42百万円支出したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億61百万円の支出（前年同期は7億86百万円の支出）となりました。

これは主として、配当金の支払額3億66百万円及び有利子負債の削減を進めたことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月10日の「平成24年3月期 決算短信」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方針に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,946千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,992,194	3,504,473
受取手形及び売掛金	2,841,824	2,932,456
有価証券	100,000	100,000
商品	293,806	261,064
仕掛品	158,366	643,546
貯蔵品	28,521	25,856
その他	682,671	792,006
貸倒引当金	△17,015	△19,516
流動資産合計	8,080,369	8,239,886
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,729,912	2,728,341
その他(純額)	1,273,186	1,340,368
有形固定資産合計	4,003,099	4,068,709
無形固定資産		
ソフトウェア	1,385,469	1,065,808
ソフトウェア仮勘定	37,794	113,573
その他	22,124	19,321
無形固定資産合計	1,445,388	1,198,703
投資その他の資産		
その他	1,918,861	1,872,785
貸倒引当金	△15,947	△19,416
投資その他の資産合計	1,902,913	1,853,369
固定資産合計	7,351,401	7,120,782
資産合計	15,431,771	15,360,668
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	607,635	760,786
短期借入金	1,100,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	467,600	475,000
1年内償還予定の社債	252,000	220,000
未払法人税等	587,555	455,938
賞与引当金	484,577	309,610
その他の引当金	48,436	28,333
その他	1,926,420	2,052,905
流動負債合計	5,474,224	4,902,573
固定負債		
社債	410,000	320,000
長期借入金	819,000	1,175,000
引当金	23,873	23,854
資産除去債務	16,929	17,123
その他	72,182	66,605
固定負債合計	1,341,985	1,602,583
負債合計	6,816,209	6,505,157

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,380	3,198,380
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	3,650,341	3,882,915
自己株式	△1,164,953	△1,165,096
株主資本合計	8,697,157	8,929,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△75,071	△77,636
繰延ヘッジ損益	△17,588	△17,275
その他の包括利益累計額合計	△92,660	△94,911
新株予約権	11,063	20,834
純資産合計	8,615,561	8,855,511
負債純資産合計	15,431,771	15,360,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	9,497,739	10,228,898
売上原価	3,192,838	3,680,110
売上総利益	6,304,901	6,548,788
返品調整引当金戻入額	20,685	24,002
返品調整引当金繰入額	24,854	28,333
差引売上総利益	6,300,732	6,544,457
販売費及び一般管理費	5,352,758	5,495,290
営業利益	947,974	1,049,167
営業外収益		
受取利息	3,720	2,161
受取配当金	4,516	6,725
保険配当金	14,049	25,784
その他	10,107	8,381
営業外収益合計	32,393	43,051
営業外費用		
支払利息	36,831	30,276
その他	1,542	1,467
営業外費用合計	38,373	31,744
経常利益	941,993	1,060,474
特別利益		
投資有価証券売却益	2,091	—
特別利益合計	2,091	—
特別損失		
固定資産売却損	—	721
固定資産除却損	5,505	2,306
減損損失	364	9,449
投資有価証券売却損	—	1,059
投資有価証券評価損	5,719	—
会員権評価損	—	5,500
その他	200	4,000
特別損失合計	11,789	23,038
税金等調整前四半期純利益	932,295	1,037,436
法人税等	436,541	436,805
少数株主損益調整前四半期純利益	495,754	600,631
四半期純利益	495,754	600,631

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	495,754	600,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,012	△2,564
繰延ヘッジ損益	5,541	313
その他の包括利益合計	△21,470	△2,251
四半期包括利益	474,283	598,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474,283	598,379
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	932,295	1,037,436
減価償却費	268,809	275,478
減損損失	364	9,449
のれん償却額	6,413	1,810
株式報酬費用	—	9,770
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,887	5,969
賞与引当金の増減額(△は減少)	△127,740	△174,967
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△24,434
その他の引当金の増減額(△は減少)	6,033	4,312
受取利息及び受取配当金	△8,236	△8,886
支払利息	36,831	30,276
投資有価証券売却損益(△は益)	—	1,059
投資有価証券評価損益(△は益)	5,719	—
固定資産除売却損益(△は益)	5,505	3,028
会員権評価損	—	5,500
売上債権の増減額(△は増加)	317,035	△90,073
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,744	△295,946
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,631	153,150
その他	105,935	78,581
小計	1,493,704	1,021,517
法人税等の支払額	△402,659	△566,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,091,045	454,859
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△120,044	△220,051
定期預金の払戻による収入	120,032	120,044
有形固定資産の取得による支出	△87,209	△142,899
有形固定資産の売却による収入	—	66
無形固定資産の取得による支出	△59,277	△99,282
投資有価証券の取得による支出	△121,422	—
投資有価証券の売却による収入	4,481	1,375
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
保険積立金の積立による支出	△2,766	△41,996
利息及び配当金の受取額	8,275	8,794
その他	△14,004	△6,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,936	△380,669

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,770,000	1,300,000
短期借入金の返済による支出	△1,770,000	△1,800,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△252,190	△136,600
社債の償還による支出	△122,000	△122,000
株式の発行による収入	81	—
自己株式の取得による支出	△182	△143
配当金の支払額	△365,368	△366,353
利息の支払額	△36,908	△30,301
その他	△10,200	△6,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△786,768	△661,917
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	132,341	△587,726
現金及び現金同等物の期首残高	3,001,266	3,863,804
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,133,608	3,276,077

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。